職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年	月日	校長名			所在地		
横浜システム工学 校	院専門学	平成4年8月	11日	杉山 勝巳	〒 (住所)	241-0826 横浜市旭区東希望がE	£128−4		
設置者名		設立認可年	月日	代表者名	(電話)	045-367-1881	所在地		
学校法人YSE	学園	平成4年8月	11日	杉山 勝巳	〒 (住所)	241-0826 横浜市旭区東希望がE	£128-4		
分野		 認定課程名		認定学科名	(電話)	045-367-1881 門士認定年度	高度専門士認定	年度 職業実	[践専門課程認定年度
商業実務		実務専門課程		-バルITビジネス科	_	艾25(2013)年度	-		P成27(2015)年度
学科の目的						目的とする。この目標達成 スキルなど、現場で求めら			
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	【目標資格日本語能:	i】 力検定、全経簿記、販	売士等						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要 単	要な総授業時 .位数	数又は総	構義	演習	実習	実験	実技
2	昼間	※単位時間、単位いずれ かに記入		単位時間 7: 単位	92 単位時間	0 単位時間	1,332 単位時間 単位	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員	生徒乳	 実員(A) 留学生	上数(生徒実員の)		割合(B/A)	中退率	半 位	平12	半世
160 人	146	Д.	146	,	1 %	3 %			
	■卒業者			10	Ļ	<u> </u> -			
	■就職布	望者数 (D) : 数 (E) :		<u>8</u> 8		-			
	■地元就	職者数(F)		3	人	- -			
	■就職率 ■就職者	(E/D) に占める地元就職者	の割合 (F/F)	100	%	-			
				[′] 38	%	=			
	■卒業者	こ占める就職者の割っ	台(E/C)	80	%				
就職等の状況	■進学者			2	人	 			
70 23 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	■その他								
	(令和		者に関する令利	和6年5月1日時点の作	野報)				
	■土な駅 (令和5年度	職先、業界等							
	小売業 ∃	サービス業 宿泊業	. 飮食業						
	小売業、	サービス業、宿泊業	、飲食業						
	■民間の	評価機関等から第	三者評価:			有			
第三者による	■民間の		三者評価:			有			
第三者による 学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等から第	三者評価:	ス 受審年月	: 令和5年1	2日 評価			ac.jp/about/disclose.k
学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等から第3、例えば以下について(三者評価:	ス 受審年月	: 令和5年1	2日 評価		https://www.yse.a	ac.jp/about/disclose.k
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	評価機関等から第: 、例えば以下について 評価団体: JAMOTE	三者評価: ^{壬意記載} =認証サービ		: 令和5年1	2日 評価			ac.jp/about/disclose.h
学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等から第3、例えば以下について(三者評価: ^{壬意記載} =認証サービ		: 令和5年1	2日 評価			ac.jp/about/disclose.ł
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第3 、例えば以下について 評価団体: JAMOTE ww.yse.ac.jp/course	三者評価: ^{壬意記載} =認証サービ		: 令和5年1	2日 評価			ac.jp/about/disclose.ł
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第: 、例えば以下についてd 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course な時間による算定)	三者評価: ^{壬意記載} =認証サービ		: 令和5年1	2日 評価		tml	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course な時間による算定) 総授業時数	三者評価: 日意記載 認証サービ.	html		2日 評価		tml 1,800 単位時間	п
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第: 、例えば以下についてd 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course 立時間による算定) 総授業時数 うち企業	三者評価: H 意記載 認証サービ. e/course_gb.l 等と連携した	html 実験・実習・実技の摂		2日 評価		tml 1,800 単位時間 0 単位時間	n n
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第: 、例えば以下についてd 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	三者評価: 王意記載 記記サービ。 e/course_gb.l 等と連携した。 等と連携した。	html		2日 評価		1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間	7) 7)
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第: 、例えば以下についてd 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course 立時間による算定) 総授業時数 うち企業	三者評価: 王意記載 記証サービ。 a/course_gb.l 等と連携した 等と連携した 授業時数	html 実験・実習・実技の授 演習の授業時数	受業時数	2月 評価ホー		1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間	5 5 5 6
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第: 、例えば以下についてd 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	三者評価: 王意記載 記記サービ。 e/course_gb.l 等と連携した 授業時数 うち企業等	html 実験・実習・実技の授 演習の授業時数 と連携した必修の実験	ዿ業時数 ・実習・実技	2月 評価ホー		1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 0 単位時間	5 5 5 5 5
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第: 、例えば以下についてd 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	三者評価: 王意記載 記記サービ。 e/course_gb.l 等と連携した 授業時数 うち企業等	html 実験・実習・実技の授 演習の授業時数	ዿ業時数 ・実習・実技	2月 評価ホー		1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間	5 5 5 5 5
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第: 、例えば以下については 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	三者評価: 王意記載 記記証サービ。 e/course_gb.l 等と連携した 授業時数 うち企業等	html 実験・実習・実技の授 演習の授業時数 と連携した必修の実験	受業時数 ・実習・実技 の授業時数	2月 評価ホー		1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 0 単位時間	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した と実習等の実施状況	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第: 、例えば以下については 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	三者評価: 王意記載 記記証サービ。 e/course_gb.l 等と連携した 授業時数 うち企業等	html 実験・実習・実技の投 演習の授業時数 と連携した必修の実制 と連携した必修の演習	受業時数 ・実習・実技 の授業時数	2月 評価ホー		1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 0 単位時間	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した でまる。 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第: 、例えば以下については 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	三者評価: 王意記載 記記証サービ。 e/course_gb.l 等と連携した 授業時数 うち企業等	html 実験・実習・実技の投 演習の授業時数 と連携した必修の実制 と連携した必修の演習	受業時数 ・実習・実技 の授業時数	2月 評価ホー		1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 0 単位時間	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した 実習等の実施状況	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第: 、例えば以下については 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修	三者評価: 王意記載 記記証サービ。 e/course_gb.l 等と連携した 授業時数 うち企業等	html 実験・実習・実技の投 演習の授業時数 と連携した必修の実制 と連携した必修の演習	受業時数 ・実習・実技 の授業時数	2月 評価ホー		1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 0 単位時間	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等を連携した 変響等の実施状況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第: ・ 例えば以下については 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総数による算定)	三者評価: 王意記載 記証サービ。 a/course_gb.l 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等 まちと連携した	html 実験・実習・実技の投 演習の授業時数 と連携した必修の実制 と連携した必修の演習	○実習・実材○授業時数○授業時数○授業時数	2月 評価ホー		1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 0 単位時間 180 単位時間	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等を連携した 変響等の実施状況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第: 、例えば以下については 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course z時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業	三者評価: 王意記載 記記 サービ。 e/course_gb.l 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等 ま等と連携した	html 実験・実習・実技の投 演習の授業時数 と連携した必修の実影 と連携した必修の演習 たインターンシップの	○実習・実材○授業時数○授業時数○授業時数	2月 評価ホー		1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 180 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 変響等の実施状況	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第:	三者評価: 王意記載 記記証サービ。 a/course_gb.l 等と連携した 授業時数 うち企業等 ま等と連携した できる企業等 まずる企業等 まずる企業等 まずる企業等 まずる企業等した を連携した	html 実験・実習・実技の投 演習の授業時数 と連携した必修の実態 と連携した必修の演習 たインターンシップの	○実習・実材○授業時数○授業時数○授業時数	2月 評価ホー		1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 1,692 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 0 単位時間	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 変響等の実施状況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第: 、例えば以下については 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course z時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業	三者評価: 王意記載 記記 サービ. a/course_gb.l 等と連携した 授業時数 うち企業等 美等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した	実験・実習・実技の授 演習の授業時数 と連携した必修の実影 と連携した必修の演習 たインターンシップの 実験・実習・実技の単 演習の単位数	受業時数 ・実習・実打 の授業時数 授業時数)	2月 評価ホー		1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 1,692 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 0 単位時間	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 変響等の実施状況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第:	三者評価: 王意記載 記記 サービ. a/course_gb.l 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等 と連携した 等と連携した できと連携した できと連携した できと連携した できと連携した できる企業等	実験・実習・実技の授 演習の授業時数 と連携した必修の実影 と連携した必修の演習 たインターンシップの 実験・実習・実技の単 演習の単位数	受業時数 ・実習・実打 の授業時数 授業時数) ・ は位数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2月 評価ホー		1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 1,692 単位時間 0 単位時間 20 単位時間 0 単位時間	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等を連携した 変響等の実施状況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第:	三者評価: 王意記載 記記証サービ。 a/course_gb.l 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等 と連携した 等と連携した では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	無対した必修の実験と連携した必修の実験と連携した必修の実験と連携した必修の演習たインターンシップの	受業時数 ・実習・実打 の授業時数) ・実習・実材 ・実習・実材 の単位数	2月 評価ホー		1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 1,692 単位時間 0 単位時間 20 単位時間 0 単位時間	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した でまる。 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第:	三者評価: 王意記載 記記証サービ。 a/course_gb.l 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等 と連携した 等と連携した では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実験・実習・実技の授 演習の授業時数 と連携した必修の実影 と連携した必修の演習 たインターンシップの 実験・実習・実技の単 演習の単位数	受業時数 ・実習・実打 の授業時数) ・実習・実材 ・実習・実材 の単位数	2月 評価ホー		1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 1,692 単位時間 0 単位時間 20 単位時間 0 単位時間	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施状況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第:	三者評価: 王意記載 記記証サービ。 a/course_gb.l 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等 と連携した 等と連携した では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	無対した必修の実験と連携した必修の実験と連携した必修の実験と連携した必修の演習たインターンシップの	受業時数 ・実習・実打 の授業時数) ・実習・実材 ・実習・実材 の単位数	2月 評価ホー		1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 1,692 単位時間 0 単位時間 20 単位時間 0 単位時間	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施状況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第:、例えば以下については 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course は時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業	三者評価: 王意記載 記記証サービ。 a/course_gb.l 等と連携した 接楽時数 うち企業等 うち企業等 を連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した	html 実験・実習・実技の投 演習の授業時数 と連携した必修の実影と連携した必修の演習 たインターンシップの 実験・実習・実技の単 演習の単位数 と連携した必修の演習 と連携した必修の実影 と連携した必修の演習	受業時数 ・実習・実材 の授業時数) ・実習・実材 の単位数 の単位数 の単位数	2月 評価ホー		1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 1,692 単位時間 0 単位時間 20 単位時間 0 単位時間	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した でまる。 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第3、例えば以下について(評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 (うち企 (うち企 (うち企 (うち企 () 事修学校の専門	三者評価: 王意記載 ・記証サービ・ a/course_gb.l 等と連携した 接楽等と連携した 接楽等と連携した 等と連携した をと連携した をと連携した をと連携した を企業等と 単位 うち企業等 と連進援した をと連携した を変える。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	html 実験・実習・実技の技 演習の授業時数 と連携した必修の実影と連携した必修の演習たインターンシップの 実験・実習・実技の単 演習の単位数 と連携した必修の演習と連携した必修の演習と連携した必修の演習たインターンシップの	受業時数 ・実習・実材の授業時数 の授業時数) が受験を対し、実際である。 ・実習の単位数 がようがある。	2月 評価ホー	AN-VURL	1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 180 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した でまる。 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第:、例えば以下については 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course は時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業	三者評価: 王意記載 ・記記証サービ。 a/course_gb.l 等と連携したた 接と連携数 うち企業等 等と連携したた をと連携したた をと連携したた 等と連携したた 等と連携したた 等と連携したた 等と連携したた 等と連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をとを変勢し	html 実験・実習・実技の投 演習の授業時数 と連携した必修の実影と連携した必修の演習 たインターンシップの 実験・実習・実技の単 演習の単位数 と連携した必修の演習 と連携した必修の実影 と連携した必修の演習	受業時数 ・実習・実打の受業時数 ・実習・実技の受業時数 ・実習・実技の受験を表 ・実習・実技の関係を表 ・実習・実技の単位数 ・実習・実技の単位数 ・実習・実技	2月 評価ホー	AN-VURL	1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 1,692 単位時間 0 単位時間 20 単位時間 0 単位時間	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した でまる。 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第:	三者評価: 王意記載 ・記記証サービ。 a/course_gb.l 等と連携したた 接と連携数 うち企業等 等と連携したた をと連携したた をと連携したた 等と連携したた 等と連携したた 等と連携したた 等と連携したた 等と連携したた 等と連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をと連携したた をとを変勢し	無対した必修の実験と連携した必修の実験と連携した必修の実際でする。 実験・実習・実技の単立をは、実験・実習・実技の単位数をは、実践の単位数と連携した必修の演習と連携した必修の演習とは、まままなの単位をある。 とは、ままないであって、ままないでであって、ままない。ままないでであって、ままない。ままないでであって、ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない	受業時数 ・実習・実打の受業時数 ・実習・実技の受業時数 ・実習・実技の受験を表 ・実習・実技の関係を表 ・実習・実技の単位数 ・実習・実技の単位数 ・実習・実技	2月 評価ホー	AN-VURL	1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 180 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した でまる。 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第:、例えば以下については 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course は時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業	三者評価: 王意記証サービ・ a/course_gb.l は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	無対した必修の実験と連携した必修の実験と連携した必修の実際でする。 実験・実習・実技の単立をは、実験・実習・実技の単位数をは、実践の単位数と連携した必修の演習と連携した必修の演習とは、まままなの単位をある。 とは、ままないであって、ままないでであって、ままない。ままないでであって、ままない。ままないでであって、ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない	是業時数 ・実習・実打の授業時数) ・実での授業時数) ・実での単位数 ・実での単位数 ・実での単位数	2月 評価ホー	ムベージURL - 1号)	1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 180 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した 実習等のBい大いのに記入)	■民間の ※有の場合 https://w (A:単位	評価機関等から第3、例えば以下について(評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 な数による第定)	三者評価: 王意記載 一記記証サービ・ a/course_gb.l 等等と連携しした 大きと連携の変楽等 うちと連携したた 大きと連携したたた 理楽等を企連携したたた は変な企業等は でした。 では、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、また	無対した必修の実験と連携した必修の実験と連携した必修の実際でする。 実験・実習・実技の単立をは、実験・実習・実技の単位数をは、実践の単位数と連携した必修の演習と連携した必修の演習とは、まままなの単位をある。 とは、ままないであって、ままないでであって、ままない。ままないでであって、ままない。ままないでであって、ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない	受業時数 ・実習・実技の授業時数) ・受業時数) ・受業時数) ・受業時数) ・実習・実技 ・の単位数 ・単位数 ・「専修与	2月 評価ホー の授業時数 の受業時数 の単位数 学校設置基準第41条第1項第	ムベージURL 1号)	1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 180 単位時間 0 単位時間 2 単位 単	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等を実施状況 (A、Bい大)	■民間の ※有の場合 https://w (A:単位	評価機関等から第:	三者評価: 王意記載 一定 本/course_gb.l 等等とと連携したた 接換する方を連携したた 接換する方を連携したた。 本学等とと連数企企業携したた。 本学等とと連数企企業業したた。 本学等をとと連数企企業業したた。 はしたた。 本学等をとと連数企企業業に業務を企業をある。 は、業等等をした。 は、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに	無対した必修の実験と連携した必修の実験と連携した必修の実際でする。 実験・実習・実技の単立をは、実験・実習・実技の単位数をは、実践の単位数と連携した必修の演習と連携した必修の演習とは、まままなの単位をある。 とは、ままないであって、ままないでであって、ままない。ままないでであって、ままない。ままないでであって、ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない	受業時数 ・実習・実材の授業時数 ・受験を対し、 ・実習・実材の ・実習・要数 ・受験を対し、 ・実習・実材の ・実質の ・実質の ・実質の ・実質の ・実質の ・実質の ・実質の ・で表現の ・で表	2月 評価ホー の授業時数 の受験時数 の単位数 を校設置基準第41条第1項第 を校設置基準第41条第1項第	ムページURL 1号) 2号)	1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 1,692 単位時間 180 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 10 人	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科のホームページ URL を業等の実施権した況か に記入)	■民間の ※有の場合 https://w (A:単位	評価機関等から第3、例えば以下について(評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 2数による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 2数による算定) (うち企 20 年当する駅と当 (うち企 ())) ()) () () () () () () ()	三者評価: 王意記載 一定 本/course_gb.l 等等とと連携したた 接換する方を連携したた 接換する方を連携したた。 本学等とと連数企企業携したた。 本学等とと連数企企業業したた。 本学等をとと連数企企業業したた。 はしたた。 本学等をとと連数企企業業に業務を企業をある。 は、業等等をした。 は、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに	無対した必修の実験と連携した必修の実験と連携した必修の実際でする。 実験・実習・実技の単立をは、実験・実習・実技の単位数をは、実践の単位数と連携した必修の演習と連携した必修の演習とは、まままなの単位をある。 とは、ままないであって、ままないでであって、ままない。ままないでであって、ままない。ままないでであって、ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない	受業時数 ・実習・実材の授業時数 ・ 実習・実材の授業時数 ・ 実習の対理を表 ・ 実習の単位数 ・ 実習の単位数 ・ 実習の単位数 ・ 実際である。 ・ 実際できまる。 ・ 実際である。 ・ 実際できない。 ・ 実際である。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない	2月 評価ホー の授業時数 の受業時数 の単位数 を校設置基準第41条第1項第 を校設置基準第41条第1項第	ムページURL 1号) 2号) 3号)	1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 1,692 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 0 単位中間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1,000 単位	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科のホームのでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 とを実際等等の表にできる。 に記入) を実際には、 に記入)	■民間の ※有の場合 https://w (A:単位	評価機関等から第:	三者評価: 王意記載 一定 本/course_gb.l 等等とと連携したた 接換する方を連携したた 接換する方を連携したた。 本学等とと連数企企業携したた。 本学等とと連数企企業業したた。 本学等をとと連数企企業業したた。 はしたた。 本学等をとと連数企企業業に業務を企業をある。 は、業等等をした。 は、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに	無対した必修の実験と連携した必修の実験と連携した必修の実際でする。 実験・実習・実技の単立をは、実験・実習・実技の単位数をは、実践の単位数と連携した必修の演習と連携した必修の演習とは、まままなの単位をある。 とは、ままないであって、ままないでであって、ままない。ままないでであって、ままない。ままないでであって、ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない	受業時数 ・実習・実材の授業時数 ・ 実習・実材の授業時数 ・ 実習の対理を表 ・ 実習の単位数 ・ 実習の単位数 ・ 実習の単位数 ・ 実際である。 ・ 実際できまる。 ・ 実際である。 ・ 実際できない。 ・ 実際である。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない	2月 評価ホー の授業時数 の受験時数 の単位数 を校設置基準第41条第1項第 を校設置基準第41条第1項第	ムページURL 1号) 2号) 3号)	1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 1,692 単位時間 180 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 10 人	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科のホームのでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 とを実際等等の表にできる。 に記入) を実際には、 に記入)	■民間の ※有の場合 https://w (A:単位	評価機関等から第3、例えば以下について(評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 2数による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 2数による算定) (うち企 20 年当する駅と当 (うち企 ())) ()) () () () () () () ()	三者評価: 王意記載 一定 本/course_gb.l 等等とと連携したた 接換する方を連携したた 接換する方を連携したた。 本学等とと連数企企業携したた。 本学等とと連数企企業業したた。 本学等をとと連数企企業業したた。 はしたた。 本学等をとと連数企企業業に業務を企業をある。 は、業等等をした。 は、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに	無対した必修の実験と連携した必修の実験と連携した必修の実際でする。 実験・実習・実技の単立をは、実験・実習・実技の単位数をは、実践の単位数と連携した必修の演習と連携した必修の演習とは、まままなの単位をある。 とは、ままないであって、ままないでであって、ままない。ままないでであって、ままない。ままないでであって、ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない	受業時数 ・実習・実材の授業時数 ・ 実習・実材の授業時数 ・ 実習の対理を表 ・ 実習の単位数 ・ 実習の単位数 ・ 実習の単位数 ・ 実際である。 ・ 実際できまる。 ・ 実際である。 ・ 実際できない。 ・ 実際である。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない	2月 評価ホー の授業時数 の受業時数 の単位数 を校設置基準第41条第1項第 を校設置基準第41条第1項第	ムページURL 1号) 2号) 3号)	1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 1,692 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 0 単位中間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1,000 単位	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科のホームのでは、 URL に変更の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	■民間の ※有の場合 https://w (A:単位	評価機関等から第3、例えば以下については 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course は時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 ないまる。 (うち企 ないまる。) (うち企 ないまる。 (うち企 ないまる。) (うちを) (うち	三者評価: 王意記載 一定 本/course_gb.l 等等とと連携したた 接換する方を連携したた 接換する方を連携したた。 本学等とと連数企企業携したた。 本学等とと連数企企業業したた。 本学等をとと連数企企業業したた。 はしたた。 本学等をとと連数企企業業に業務を企業をある。 は、業等等をした。 は、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに	無対した必修の実験と連携した必修の実験と連携した必修の実際でする。 実験・実習・実技の単立をは、実験・実習・実技の単位数をは、実践の単位数と連携した必修の演習と連携した必修の演習とは、まままなの単位をある。 とは、ままないであって、ままないでであって、ままない。ままないでであって、ままない。ままないでであって、ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない。ままない	受業時数 ・実習・実材の授業時数 ・ 実習・実材の授業時数 ・ 実習の対理を表 ・ 実習の単位数 ・ 実習の単位数 ・ 実習の単位数 ・ 実際である。 ・ 実際できまる。 ・ 実際である。 ・ 実際できない。 ・ 実際である。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない。 ・ 実際できない	2月 評価ホー の授業時数 の受業時数 の単位数 を校設置基準第41条第1項第 を校設置基準第41条第1項第	ムページURL 1号) 2号) 3号)	1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 180 単位時間 0 単位時間 4単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1,692 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世	ភ ភ ភ
学校評価 当該学科のホームのでは、 URL に変更の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	■民間の ※有の場合 https://w (A:単位	評価機関等から第注。例えば以下については 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うちを企業 (うち企 で学校をあいる。 で学校を表します。 では、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる事件では、また。 できるでは、また。 のでは、 の	三者評価: 王意記証サービ、 a/course_gb.l 等等とと連連勝ちちと連携数 ううちと連携数 ううちと連携機 を企業携したたた 単立の うちと連携機 を企業携したたた 等等とと連携機 がしたたまである。 第等等している。 第等等をと連携がある。 第等等をと連携がある。 第等等をと連携がある。 第等等をとをできません。 第一次では、またの	html 実験・実習・実技の投 演習の授業時数 と連携した必修の実影と連携した必修の方面を たインターンシップの 実験・実習・実技の単位数 と連携した必修の演習と連携した必修の演習と連携した必修の演習と連携した必修の演習たインターンシップの たて後、学校等はあい門間でもあってた。	受業時数 ・実習・実打の授業時数 ・実習・実打の授業時数 ・変形の授業時数 ・実習の数 ・実習の単位数 ・実習の単位数 ・専修門・デート ・「専修門・デート ・「専修門・デート ・「専修門・デート ・「専修門・デート ・「・「・「・「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2月 評価ホー の授業時数 の単位数 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	ムページURL 1号) 2号) 3号) 4号)	1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 180 単位時間 0 単位時間 4単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1,692 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世	7 7 7 7 7
学校評価 当該学科のホームページ URL 等等と連携施ず、した状かいに記入)	■民間の ※有の場合 https://w (A:単位	評価機関等から第注。例えば以下については 評価団体: JAMOTE www.yse.ac.jp/course な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うちを企業 (うち企 で学校をあいる。 で学校を表します。 では、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる算定) のでは、まる事件では、また。 できるでは、また。 のでは、 の	三者評価 三者記載サービ、 本/course_gb.l 等等接受 本/course_gb.l をと楽ううちとと連連勝数企企連携ししたたと連携数企企連携ししたたと連携数企企連携ししたたと連携とである企連携したたと連携のである企連携に来であるとを連携したたとをできるとをである。 業等等単したたと連携したたと連携したたと連携を含むである。 までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、	html 実験・実習・実技の技 演習の授業時数 と連携した必修の実験 と連携した必修の実験 たインターンシップの 実験・実習・実技の単 なが修の実験 たインターンシップの と連携した必修の演習 たインターンシップの と連携した必修の演習 たインターンシップの たるからなどを連携したがあって、 たびあって、 が等当該専門問 たてた期間とを通算して たびあってた があったとを あったとを あったとを あったとを あったとを あったとを あったとを あったものおおおむれ	受業時数 ・実習・実打の授業時数 ・実習・実打の授業時数 ・変形の授業時数 ・実習の数 ・実習の単位数 ・実習の単位数 ・専修門・デート ・「専修門・デート ・「専修門・デート ・「専修門・デート ・「専修門・デート ・「・「・「・「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2月 評価ホー の授業時数 の受業時数 の単位数 を校設置基準第41条第1項第 を校設置基準第41条第1項第	ムページURL 1号) 2号) 3号) 4号)	1,800 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 1,692 単位時間 180 単位時間 0 単位時間 4単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1,692 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世	7 7 7 7 7

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。 関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等と密接かつ組織的な連携体制を確保して、職業実践的かつ専門的な能力を持つ人材を育成するため、特に職業に関連した企業、関係施設、業界団体等との密接な連携を通じ、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組むことを目的とする。

- 1)教育課程の編成に関すること
- ① 企業等からも委員を募り、委員の意見を反映して、授業科目等の教育課程の編成、授業方法や成績評価方法の改善・工夫などを協議する。
- 2) 教育の実践に関すること
- ① 企業等と密接かつ組織的な連携体制を確保し、演習・実習等を実施できるよう協議する。
- ② 新鮮な実践的教材により、活きた育てる実践的な教育を実施できるよう協議する。
- ③ 企業内実習、コラボレーション、インターンシップ等、企業との関わりを増やし、学生が企業の現場を知り、学んでいることがどう活かせるかを知ることにより、職業理解を深めると共に、安心して学業に取組める環境を構築し、学業意欲の向上を図れるように協議する。
- ④ 経験豊富な企業人講師による特別授業を適時行えるように講師選びを協議する。
- ⑤ 企業等の声を取り入れて、教科書等に依存した教える教育に終始することなく、通学し仲間と共に学ぶことにより身につく課題挑戦型のグループ実習を 継続実施できるよう協議する。
- ⑥ 企業等の声を取り入れて、複数の学科・コース間連携による実践的教育を推進し、作品力やコミュニケーション能力などの向上を図れるよう協議する。 ⑦ 楽しく学びながら感動体験や外部の学生や社会人と競争し合い勝利体験を味わえるコンテストへの取り組み、展示会出展等、時代の求める活きた課題に取組みながら、自信と自主性を育てられるよう協議する。
- ⑧ YSEフェスタや卒業制作発表会などの学校行事に向けては、企業等の声を取り入れて、グループで実践的な活きた作品作りに取り組めるよう協議する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- (1)の基本方針のもとに、教育実践に関する①—⑧の項目について協議するために、教育課程編成委員会で協議する。学科で立案した教育課程・授業内容・授業方法に関して、専門分野ならびに就業後の実務や職業人としての立場から意見をいただく。また、該当年度の実施状況の報告にもとづく見直しの提案やアドバイスをいただく。これらの意見、提案、アドバイスを学院長・室長で構成する企画運営会議で諮り、教育課程等に反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年7月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
富樫 和弘	神奈川県情報サービス産業協会 常務理事・産学連携委員会委員長 (株式会社情創 代表取締役社長)	令和6年6月1日 ~令和7年5月31日	1
前山 浩志	デジタルコム株式会社 代表取締役社長 (神奈川県情報サービス産業協会 副会長)	令和6年6月1日 ~令和7年5月31日	3
田村 孝章	株式会社アクロイト 代表取締役社長	令和6年6月1日 ~令和7年5月31日	3
新井 一功	ネクストポイント株式会社 執行役員	令和6年6月1日 ~令和7年5月31日	3
渡部 雄三	㈱アイランドコンサルタント 代表取締役	令和6年6月1日 ~令和7年5月31日	3
鈴木 晶	㈱アナザーウエア 代表取締役	令和6年6月1日 ~令和7年5月31日	3
関口 良太	株式会社GR Support 代表取締役	令和6年6月1日 ~令和7年5月31日	3
霜村 直人	有限会社ファースト・バリュー 代表取締役社長	令和6年6月1日 ~令和7年5月31日	3
鈴木 誠	鈴木誠中小企業診断士事務所 代表	令和6年7月1日 ~令和7年5月31日	3
杉山 勝巳	横浜システム工学院専門学校 理事長 学院長		_
杉山 明彦	横浜システム工学院専門学校 理事 評議員 総務企画室長		_
杷野 恭久	横浜システム工学院専門学校 評議員 キャリアセンター長		_
冨永 英世	横浜システム工学院専門学校 評議員 先進教育指導室長		
花島 恒登	横浜システム工学院専門学校 先進IT教育指導室 室長補佐		_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年7月19日 16:00~18:00 第2回 令和6年1月11日 16:00~18:00

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

産学連携授業では、連携策に出向いて現場を見ながら、説明をうけたり、用意した提案をプレゼンする機会を増やした。 それ以外の実習科目でも実務家講師による職業実践的授業を行っている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

教育連携協定書の以下の項目

- 公司を受ける。 ②新鮮な実践的教材により、活きた育てる実践的な教育を実施できるようにする。 ⑤企業等の声を取り入れて、教科書等に依存した教える教育に終始することなく、通学し仲間と共に学ぶことにより身につく課題挑戦型のグループ実習を継 続実施できるようにする。
- ⑥企業等の声を取り入れて、複数の学科・コース間連携による実践的教育を推進し、作品力やコミュニケーション能力などの向上を図れるようにする。 ⑦楽しく学びながら感動体験や外部の学生や社会人と競争し合い勝利体験を味わえるコンテストへの取り組み、展示会出展等、時代の求める活きた課題 に取組みながら、自信と自主性を育てられるようにする。

以上の実践に当たっては、学生が学ぶこと、経験することを、実践的職業体験に昇華させて技術や知識を自分のモノにさせる。そのために、課題挑戦型プロジェクト教育という手法を使って、チームでの作品作りを中心に、実習・演習を行い、プレゼンテーションで締めくくるようにしている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

流通小売業について身につけた知識をもとに、産学連携先小売店に出向き、経営者より講義や課題をいただき、学校に戻ってからはその課 題に取り組み、出来上がると小売店に出向き、プレゼン・試行を行い、その結果をフィードバックするという体験を繰り返し行ってきた。 課題対応も円滑に行うことが出来るようになり、学生の意欲も向上した。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
ビジネスWebコンテンツ制 作	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	業界の現状、課題、商品販売、プロモーション方 法などについて講義頂き、プロモーションの演習 課題に取り組み、経営者のアドバイスをいただく	
ビジネス動画制作	5. その他※具体的な連携方 法を科目概要欄に記述する こと。	実際の商品を題材にプロモーションのためのコンテンツを制作し、Webにアップし、プレゼンテーションを行い、経営者のアドバイスをいただく	有限会社ファースト・バアリュー
販売探求	5. その他※具体的な連携方 法を科目概要欄に記述する こと。	販売状況の推移を見ながらコンテンツのさらなる充実に取り組む。その成果をプレゼンテーションし、経営者のドバイスをいただく	有限会社ファースト・バアリュー
販売実践		商品の店舗展示準備から販売・、実績管理まで を体験し、その成果をプレゼンテーションし、経 理者のアドバイスをいただく	有限会社ファースト・バアリュー
ITビジネス企画コンテスト	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	商品の店舗展示準備から販売・、実績管理までを体験し、その成果をプレゼンテーションし、経 理者のアドバイスをいただく	中小企業診断士/商業

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員研修規程 第3条(本学の責務)

本学は、教職員に対する研修の必要性を理解するとともに、研修計画を策定し、その研修計画に基づく研修を実施することにより、教職員に研修を受ける機会を与えなければならない。

- 2 本学は、前項の研修計画を策定し、研修を実施するに当たって、教職員の自己啓発に向けた意欲を高めるよう努めるものとする。
- 3 本学は、必要と認めるときは、他の機関と共同して又は外部の機関に委託して研修を行うことができるものとする。

ITに関しては進展の速度が速く、常に最新の技術動向を学習することが求められているため、本学科の担当教員については技術研修を重視し、積極的に研修に参加させている。

また、企業現場での実績を重視した教員採用を行っているが、学生の指導に関しては専門学校で学生を指導するための技術が必要であり、 指導技術についても積極的に参加させている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: Kintone活用研修 連携企業等: サイボウズ株式会社

期間: 2023年6月1日~2023年7月13日まで計7回 対象: 全教職員

内容 Kintoneの活用法

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: Webポータル研修会 連携企業等: 株式会社日東システムテウノロジーズ

期間: 2023年11月 対象: 教職員全員

内容 クラウドによるWebポータルの活用法

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 教職員向けAI研修(生成AIのある働き方) 連携企業等:神奈川県中小企業診断士

期間: 2024年9月~2025年2月(毎月下旬に1回) 対象: 教職員

内容 生成AIの活用の仕方を学ぶ。グループワークにより、AIを活用して課題と解決策を導き出す。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本校の教育活動その他の学校の運営の状況について、自己点検・自己評価結果に基づき学校関係者評価を行い、学校運営の改善並びに教育水準の向上に資するための方策を講ずる。本校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供することにより、企業等関係者の理解を深めると共に、良好な連携及び協力体制を推進する。

者の理解を深めると共に、良好な連携及び協力体制を推進する。 (2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応 ガイドラインの評価項目 学校が設定する評価項目 ・理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか) ・学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられている (1)教育理念•目標 学校における職業教育の特色は明確になっているか ・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか ・専修学校設置基準及び職業実践専門課程認定要件に沿った適切な運営がなされているか ・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか ・目的等に沿った事業計画が策定されているか ・事業計画に沿った運営方針が策定されているか ・人事、給与に関する制度は整備されているか ・教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動に関する情報公開が適切になされているか (2)学校運営 ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか ・教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するために マネジメントレビューを実施しているか ・学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手 順(予防処置及び是正処置)を確立しているか ・利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受 付方法を案内しているか ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達 レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施 されているか ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・情報・IT 分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行 われているか ・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか Can-Do を意識した各科目の授業シラバスが作成されているか ·情報·IT 分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系 的に位置づけられているか ・シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか 実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか 学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか (3)教育活動 ・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか 職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか 授業評価の実施・評価体制はあるか ・閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか ・教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・ 検証しているか 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか 教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか ·情報·IT 分野における先端的な知識·技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質 向上のための取組が行われているか ・職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録してい るか) 情報・IT 分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するな どマネジメントが行われているか ・字生の字修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施され ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか 学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び 根拠を記述しているか (4)学修成果 ・成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか -ズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評 価報告書を作成しているか

ているか

・学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にし

・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

(5)学生支援	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・保護者と適切に連携しているか ・社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・卒業生への支援体制はあるか ・図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングな どの学習サポートについて案内しているか ・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援は行われているか ・常生の生活環境への支援は行われているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6)教育環境	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。 ・教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか ・防災に対する体制は整備されているか ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
(7)学生の受入れ募集	・学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか) ・履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか ・学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか ・学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか ・学技案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ・学主募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ・評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか ・学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか ・学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか ・学神金は妥当なものとなっているか
(8)財務	・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報公開の体制整備はできているか ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
(9)法令等の遵守	・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか ・自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか ・監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告 しているか ・内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか ・内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか ・自己点検・評価結果を公開しているか
(10)社会貢献・地域貢献	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11)国際交流	・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか ・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されれているか ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。 (3)学校関係者評価結果の活用状況

「学生の習熟度を踏まえた授業を進めてほしいという声に応えて、授業ごとにGoogleFormsにより理解度テストを行い、その結果を見ながら授業を進めている。学生が自ら取り組めるデジタル教材の充実も進めている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員			
名 前	所 属	任期	種別
富樫 和弘	神奈川県情報サービス産業協会 常務理事・産学連携委員会委員長 (株式会社情創 代表取締役社長)	令和6年6月1日 ~令和7年5月31日	業界団体委員
前山 浩志	デジタルコム株式会社 代表取締役社長 (神奈川県情報サービス産業協会 副会長)	令和6年6月1日 ~令和7年5月31日	企業等委員
田村 孝章	株式会社アクロイト 代表取締役社長	令和6年6月1日 ~令和7年5月31日	企業等委員
新井 一功	ネクストポイント株式会社 執行役員	令和6年6月1日 ~令和7年5月31日	企業等委員
鈴木 誠	鈴木誠中小企業診断士事務所 代表	令和6年7月1日 ~令和7年5月31日	企業等委員
栗原 誠司	秀英高等学校 校長	令和6年7月1日 ~令和7年5月31日	企業等委員
久保寺 美奈	卒業生	令和6年7月1日 ~令和7年5月31日	企業等委員
濵田 恵美	在校生保護者	令和6年7月1日 ~令和7年5月31日	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.yse.ac.jp/about/disclose.html

公表時期: 令和5年9月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に沿って、学校案内・募集要項等の印刷物やホームページを通し て情報提供を行っている。毎年、6月の学校関係者評価委員会で確認後、9月1日には公表できるようにしている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

(<u>-) (1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</u>	
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校案内 学院長メッセージ、学校法人概要・沿革、YSEグランドコンセプト、
(2)各学科等の教育	・学科案内 AI・データサイエンス科・入学案内 募集学科・入学資格、入学力
(3)教職員	・実務経験のある教員等による授業科目の一覧表
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・就職・進学案内 YSEキャリアネット
(5)様々な教育活動・教育環境	・事業報告書(V.事業報告)・施設・設備・キャンパスライフ
(6)学生の生活支援	・入学案内 奨学サポート
(7)学生納付金・修学支援	· 入学案内 入学金·学費、学費等納入方法
(8)学校の財務	・財務計算に関する書類
(9)学校評価	•自己点検評価報告書•学校関係者評価報告書
(10)国際連携の状況	・入学案内 留学生入学案内
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.yse.ac.jp/about/disclose.html

公表時期: 令和5年6月30日

授業科目等の概要

				専門課程 グロ	ーバルITビジネス 科)											
		分類	Į						授	業プ		場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
1	0			小売りビジネ ス概説	小売業に関する知識・スキルを身につける	1	36		0	Δ		0		0		
2	0			マーチャンダ イジング	小売業に関する知識・スキルを身につける	1 2	36		0	4		0		0		
3	0			ス ト ア オ ペ レーション	小売業に関する知識・スキルを身につける	1 ③	36		0	\triangleleft		0		0		
4	0			マーケティン グ	小売業に関する知識・スキルを身につける	1 4	36		0	4		0		0		
5	0			販売・経営管 理	小売業に関する知識・スキルを身につける	1 (5)	36		0	4		0		0		
6	0			簿記会計Ia	電卓スキル及び商業簿記に必要な知識・スキルを身 につける	1	18		0	Δ		0		0		
7	0			簿記会計 I b	電卓スキル及び商業簿記に必要な知識・スキルを身 につける	1 2	18		0	4		0		0		
8	0			簿記会計Ic	電卓スキル及び商業簿記に必要な知識・スキルを身 につける	1	18		0	Δ		0		0		
9	0			簿記会計 I d	電卓スキル及び商業簿記に必要な知識・スキルを身 につける	1 4	18		0	Δ		0		0		
10	0			簿記会計 I e	電卓スキル及び商業簿記に必要な知識・スキルを身 につける	1 ⑤	18		0	Δ		0		0		
11	0			情報システム 入門	情報システムを活用するための知識・スキルを身に つける	1	36		0	Δ		0		0		
12	0			情報システム 基礎	情報システムを活用するための知識・スキルを身に つける	1 2	36		0	Δ		0		0		

		1	_	T					1				-	
13	0		情報システム応用	情報システムを活用するための知識・スキルを身に つける	1	36	0	Δ		0	(0		
14	0		情報システム活用	情報システムを活用するための知識・スキルを身に つける	1 4	36	0	Δ		0	(0		
15	0		情報システム実践	情報システムを活用するための知識・スキルを身に つける	1 ⑤	36	0	Δ		0	(0		
16	0			ホテル、観光の知識、マーケティングとサービス接 遇スキルを身につける	1	18	0			0			0	
17	0			ホテル、観光の知識、マーケティングとサービス接 遇スキルを身につける	1 2	18	0			0			0	
18	0			ホテル、観光の知識、マーケティングとサービス接 遇スキルを身につける	1 3	18	0			0			0	
19	0		ホテル・観光 サービス I d	ホテル、観光の知識、マーケティングとサービス接 遇スキルを身につける	1 4	18	0			0			0	
20	0		ホテル・観光 サービス I e	ホテル、観光の知識、マーケティングとサービス接 遇スキルを身につける	1 ⑤	18	0			0			0	
21	0		日本語総合 I a	ビジネスで必要な日本語の基礎を身につける	1	36	0	Δ		0	·	0		
22	0		日本語総合 I b	ビジネスで必要な日本語の基礎を身につける	1	36	0	Δ		0	(0		
23	0		日本語総合 I c	ビジネスで必要な日本語の基礎を身につける	1 3	36	0	Δ		0	(0		
24	0		日本語総合 I d	ビジネスで必要な日本語の基礎を身につける	1 4	36	0	Δ		0	·	0		
25	0		日本語総合 I e	ビジネスで必要な日本語の基礎を身につける	1 ⑤	36	0	Δ		0	(0		
26	0		日本語実践 I a	ビジネスで必要な日本語の基礎を身につける	1	18	0	Δ		0	(0		
27	0		日本語実践 I b	ビジネスで必要な日本語の基礎を身につける	1	18	0	Δ		0	(0		

28	0	日本語実践 I c	ビジネスで必要な日本語の基礎を身につける	1 3	18	0	Δ		0	0		
29	0	日本語実践 I d	ビジネスで必要な日本語の基礎を身につける	1 4	18	0	Δ		0	0		
30	0	日本語実践 I e	ビジネスで必要な日本語の基礎を身につける	1 5	18	0	Δ		0	0		
31	0	キャリアデサ イン I a	日本の一般常識やマナーを身につける 就職活動に向けた事前準備を進める	1	18	0	Δ		0	0		
32	0	キャリアデサイン I b	・ 日本の一般常識やマナーを身につける 就職活動に向けた事前準備を進める	1	18	0	Δ		0	0		
33	0	キャリアデサ インIc	日本の一般常識やマナーを身につける 就職活動に向けた事前準備を進める	1 3	18	0	Δ		0	0		
34	0	キャリアデサイン I d	・ 日本の一般常識やマナーを身につける 就職活動に向けた事前準備を進める	1 4	18	0	Δ		0	0		
35	0	キャリアデサ イン I e	日本の一般常識やマナーを身につける 就職活動に向けた事前準備を進める	1 5	18	0	Δ		0	0		
36	0	ビ ジ ネ ス Web コンテンツ制 作	小売業界で求められる実践力を身につける (卒業制作)	2	36			0	0	0	0	0
37	0	ネット動画制作	小売業界で求められる実践力を身につける (卒業制作)	2 2	36			0	0	0	0	0
38	0	販売探求	小売業界で求められる実践力を身につける (卒業制作)	2 3	36			0	0	0	0	0
39	0	販売実践	小売業界で求められる実践力を身につける (卒業制作)	2 4	36			0	0	0	0	0
40	0	ネットビジネス	· 小売業界で求められる実践力を身につける (卒業制作)	2 ⑤	36			0	0	0	0	0
41	0	ITビジネス 企画コンペa	ビジネスシーンで求められる企画力、プレゼン能力 を身につける (卒業制作)	2	36			0	0	0		
42	0	ITビジネス 企画コンペb	ビジネスシーンで求められる企画力、プレゼン能力 を身につける (卒業制作)	2	36			0	0	0		

				 ビジネスシーンで求められる企画力、プレゼン能力									
43	0		ITビジネス 企画コンペc	を身につける (卒業制作)	3	36			0	0	0		
44	0		ITビジネス 企画コンペd	ビジネスシーンで求められる企画力、プレゼン能力を身につける (卒業制作)	2 ④	36			0	0	0		
45	0		ITビジネス 企画コンペe	ビジネスシーンで求められる企画力、プレゼン能力 を身につける (卒業制作)	2 ⑤	36			0	0	0		
46	0		簿記会計Ⅱa	商業簿記に必要な知識・スキルの理解を深める	2	18	0	Δ		0	0		
47	0		簿記会計Ⅱb	商業簿記に必要な知識・スキルの理解を深める	2	18	0	Δ		0	0		
48	0		簿記会計Ⅱc	商業簿記に必要な知識・スキルの理解を深める	3	18	0	Δ		0	0		
49	0		簿記会計Ⅱd	商業簿記に必要な知識・スキルの理解を深める	2 4	18	0	Δ		0	0		
50		0	簿記会計Ⅱe	商業簿記に必要な知識・スキルの理解を深める	2 ⑤	18	0	Δ		0	0		
51	0			ホテル、観光の知識、マーケティングとサービス接 遇スキルの理解を深め、活用方法を身につける	2	18	0			0		0	
52	0			ホテル、観光の知識、マーケティングとサービス接 遇スキルの理解を深め、活用方法を身につける	2	18	0			0		0	
53	0			ホテル、観光の知識、マーケティングとサービス接 遇スキルの理解を深め、活用方法を身につける	3	18	0			0		0	
54	0		ホテル・観光 サービスⅡd	ホテル、観光の知識、マーケティングとサービス接 遇スキルの理解を深め、活用方法を身につける	2 4	18	0			0		0	
55		0	ホテル・観光 サービスⅡe	ホテル、観光の知識、マーケティングとサービス接 遇スキルの理解を深め、活用方法を身につける	2 (5)	18	0			0		0	
56	0		日本語総合Ⅱ a	ビジネスで必要な日本語の実践力を身につける	2	36	0			0	0		
57	0		日本語総合Ⅱ b	ビジネスで必要な日本語の実践力を身につける	2	36	0			0	0		

58	0		日本語総合Ⅱ c	ビジネスで必要な日本語の実践力を身につける	2 3	36	0		0	0	
59	0		日本語総合Ⅱ d	ビジネスで必要な日本語の実践力を身につける	2 4	36	0		0	0	
60		0	日本語総合Ⅱ e	ビジネスで必要な日本語の実践力を身につける	2 ⑤	36	0		0	0	
61	0		日本語実践Ⅱ a	ビジネスで必要な日本語の実践力を身につける	2	18	0		0	0	
62	0		日本語実践 Ⅱ b	ビジネスで必要な日本語の実践力を身につける	2 2	18	0		0	0	
63	0		日本語実践Ⅱ c	ビジネスで必要な日本語の実践力を身につける	2	18	0		0	0	
64	0		日本語実践 Ⅱ d	ビジネスで必要な日本語の実践力を身につける	2 4	18	0		0	0	
65		0	日本語実践Ⅱ e	ビジネスで必要な日本語の実践力を身につける	2 5	18	0		0	0	
66	0		キャリアデザ インⅡa	就職、進学活動に関する知識・スキルを身につける	2	18	0		0	0	
67	0		キャリアデザ インⅡb	就職、進学活動に関する知識・スキルを身につける	2	18	0		0	0	
68	0		キャリアデザ インⅡc	就職、進学活動に関する知識・スキルを身につける	2 3	18	0		0	0	
69	0		キャリアデザ インⅡd	就職、進学活動に関する知識・スキルを身につける	2 4	18	0		0	0	
70		J	キャリアデザ インⅡe	就職、進学活動に関する知識・スキルを身につける	2 5	18	0		0	0	
		合	計	70	科	目		1800	単位	立(単位	時間)

卒業要件及び履修方法	授業期間等
	1 学年の学期区公 1 5 世
卒業要件: 1700単位時間以上の履修	1学年の学期区分 5期
履修方法:必修科目は履修必須、選択科目は自由履修	1 学期の授業期間 9 週

(留意事項)

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

¹ 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。